

# 会 議 録

会 議 名	第3回知立市総合公共交通会議
日 時	平成29年12月26日 (火) 午後2時00分～3時45分
場 所	市役所 第2・3会議室
次 第	<p>1.開会</p> <p>2.あいさつ</p> <p>3.報告事項</p> <p>(1) ミニバスの利用状況について 【資料1】</p> <p>(2) 夏休み期間中の中学生ミニバス利用状況について 【資料2】</p> <p>(3) 乗車料金種別調査の結果について 【資料3】</p> <p>(4) 地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）の事業評価について 【資料4】</p> <p>4.協議事項</p> <p>(1) 地域公共交通の課題について 【資料5-1、5-2】</p> <p>・バス利用実態調査、バス利用者アンケート調査結果について</p> <p>(2) 住民懇談会の開催について 【資料6】</p> <p>(3) 地域公共交通調査等事業（計画策定事業）の事業評価について 【資料7】</p> <p>5.その他</p> <p>6.閉会</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第、委員名簿、座席表</li> <li>・会議説明資料（資料1、2、3、4、5-1、5-2、6、7）</li> <li>・当日配布資料（中型バスデザイン案・名鉄バス路線図）</li> </ul>
出 席 者	<p>【委 員】 山崎委員（(公財)豊田都市交通研究所主幹研究員）</p> <p>植田（田頭）委員（愛知県タクシー協会理事）</p> <p>近藤委員（名鉄バス㈱運輸部長）</p> <p>荒川委員（愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事）</p> <p>寺田委員（知立市身体障害者福祉協議会理事）</p> <p>堀委員（知立老人クラブ連合会会長）</p> <p>小林委員（区長会会計）</p> <p>毛受委員（知立市商工会女性部長）</p> <p>櫻井委員（公募市民）</p> <p>岡田（廣瀬）委員（中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官）</p> <p>桑原（神谷）委員（愛知県振興部交通対策課主幹）</p> <p>夏目委員（愛知県安城警察署交通課長）</p> <p>鈴木委員（愛知県知立建設事務所維持管理課長）</p> <p>尾崎委員（知立市都市整備部長）</p>

	近藤委員（知立市土木課長） （ ）氏名は代理出席者
欠席者	古田委員（(公社)愛知県バス協会専務理事） 河合委員（名古屋鉄道(株)東部支配人室営業総務課長） 馬場崎委員（公募市民）
内容（概要）	
<p>1.開会</p> <p>（司 会） 定刻となりましたので、ただいまより平成 29 年度第 3 回知立市総合公共交通会議を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議出席者は 15 名、全委員 18 名の過半数を超えておりますので、当会議は成立していることを報告いたします。それでは、会議に入ります前に、資料の確認をお願いいたします。</p> <p>本日お配りした「次第」、「委員名簿」と「座席表」の両面のもの、現在発注しております中型バスのイメージ図、10 月から改正しましたオレンジ色の新しいミニバスガイドです。そして、事前に送付させていただきました「平成 29 年度第 3 回知立市総合公共交通会議資料」です。中身として、ホッチキス止めの複数枚数で表紙にバスの絵が載っている資料、右上に【資料 5-1】と書いてある複数枚数のホッチキス止めのもの、【資料 5-2】と書いてある分厚い冊子、一枚のみの【資料 6】、最後に【資料 7】は両面白黒になっているものと、カラーで印刷されたホッチキス止めのもの 2 種類となっております。また、本日名鉄バスから情報提供ということで路線図が配布されています。資料は以上となります。</p> <p>それでは、事務局を代表しまして、林市長よりご挨拶申し上げます。</p> <p>2.あいさつ</p> <p>（市 長） 失礼いたします。本日はご多用の中、第 3 回になります知立市総合公共交通会議にご出席賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>—中略—</p> <p>今年最後の会議でございます。今年も大変お世話になりました。今後も委員の皆様方のご指導をいただきまして、ミニバスがより利用しやすく、多くの皆様にご利用していただける形にして参りたいと思いますので、来年もよろしくをお願いいたします。</p> <p>（司 会） ここで委員の皆様のご紹介をさせていただくところですが、時間の都合の関係により、配布させていただきました名簿及び座席表にてかえさせていただきます。ご了承ください。それでは、次第に沿いまして会議のほうに入っていきたいと思っております。報告事項として 4 件、協議事項として 3 件の審議についてお願いしたいと思います。市民の皆様にとりましてより便利なミニバスが運行できるよう協議を重ねて参りたいと思っておりますので、委員の皆様にはご協力いただきたいと思います。それでは、ここからの議事進行につきましては、議長の山崎会長に交代させていただきます。</p>	

### 3.報告事項

(議 長) おはようございます。公益財団法人豊田都市交通研究所山崎でございます。本会議は今年度より総合公共交通会議と改めました。会長に就任させていただきまして、議事進行させていただいております。それでは、座って進めさせていただきます。先ほど市長からお話がありましたとおり、たくさんミニバスに乗ってくださることを目的としてよりよいミニバスになるように、みなさんにご協議いただきたいと思います。それでは、次第に沿って進めていきたいと思っております。報告事項といたしまして、(1)「ミニバスの利用状況について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料1に基づき説明】

(議 長) 事務局から報告のありましたミニバスの利用状況について、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。いかかでしょうか。利用者数が減少傾向にあったものの、高齢者の運賃無料化事業が功を奏してか、乗車人数の減少に今のところ歯止めがかかっているということですので、良いことだと思います。それでは、続きまして報告事項(2)「夏休み期間中の中学生ミニバス利用状況について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料2に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。事務局の推察では、減少した4コースについては、夏休み期間中に利用の多いウォーターパレスへ連絡しており、自転車等で向かった生徒が増えたと考えられ、一方で増加した1コースはウォーターパレスから遠い位置を走っており、バスに乗って中心地まで出てきたのではないかということでした。この施策は何年目になりますか。

(事務局) 4年目になります。【資料2】下の表には4年間の実績を横並びで表しています。

(議 長) 平成27年の人数が多くなっており、だいたい300人~400人近くの利用がありますね。事務局の説明にもありましたとおり、今後も継続して定着させることが大事だと思います。4年やってきているということは、初年度の子たちが高校生あるいは高校を卒業している年齢かと思っております。可能であれば、中学生のときのミニバス無料乗車を覚えていますか、その後利用をしていますかというような追跡調査をいつか実施できれば良いかと思っております。子どもたちへの施策はしばらく時間が経ってから、効果が出てくるものだと考えられます。ご意見・ご質問はよろしかったでしょうか。来年度も続けていただきたいと思います。続きまして、報告事項(3)「乗車料金種別調査の結果について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料3に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。状況としては、一番利用が多かったのは高齢者ミニバス運賃無料パス、次いで1ヶ月定期券ということになっていますね。事務局としては、今回の結果は概ね想定どおりの結果になりましたか。

(事務局) 今回の調査で一番知りたかったのは、高齢者ミニバス運賃無料パスがどれだけ使われているかという割合でした。実は種別調査は毎年実施していますが、それとは別に平成25年には乗り込み調査を行いました。結果として、75歳以上の高齢者は25%程度という結果が出ており、年数が経過した分だけ増えるのではないかという判断で、26、7%を想定しておりました。

(議 長) この表を見ていただきますと、自らお金を払って乗っている方は、現金・I Cカード・1ヶ月定期券の3種類であり、半数近くを占めているのが分かります。ご意見・ご質問はよろしかったでしょうか。続きまして、報告事項(4)「地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統補助)の事業評価について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料4に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。

(委 員) ご説明にもありましたとおり、この地域間幹線系統は県で作っております協議会の方で計画を策定させていただき、国の認定を受けて補助金を頂戴しているというものであります。今後は県の協議会において、自己評価を行い、その後国に提出をします。複数の市町村に跨るという意味で県で進めていくというシステムになっていることをご理解いただきたいと思います。

また、報告事項ということではありますが、本来ならば、この会議で所見などを協議していただいたうえで、県にご提出いただくというのが手順としては望ましいですが、数値の把握や来年1月10日(平成30年)に行われる県の協議会の関係もあり、日程の都合上、県へ提出後のこの場での協議ということになります。ただいま、県の方でとりまとめ中という段階ですので、何かお気づきの点、ご意見がありましたら、その内容ができる範囲で反映していきたいと思っておりますので、ぜひともご協議の方をよろしく願います。

(議 長) ありがとうございます。ミニバスの2・3・4コースは知立市の中だけではなく、複数市町村に跨っています。その他要件はありますが、地域間幹線系統の補助要件を満たしているということで補助をいただいておりますからには、しっかりと評価をして報告をしなければならないということでもあります。以上が報告事項の4点となりますが、あとから何かお気づきの点がありましたら、またご質問ください。

それでは、協議事項に入っていきたいと思っております。協議事項(1)「地域公共交通の課題について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料5-1、5-2に基づいて説明】

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。資料5-1の1枚目、A3の折込のものが、今までこれに基づいて進めてきたもので、それに対して実態調査やアンケート調査を踏まえたものを資料5-1の8ページのとおり修正をかけたということですね。どんなことでも構わないので、ご意見・ご質問等ありましたらお願いします。

(委員) 意見として2つあります。1つは資料5-1、59・60ページの中で、それぞれのコースにないバス停がありますが、乗り継ぎも含めているということですか。

(事務局) アンケート調査で回答をいただいたもので、資料5-2、48ページの間3が該当する質問事項になります。ここが空欄ですと、無回答になり、ルートにないバス停も書いていただく方もみえますので、それに準じてまとめさせていただきました。

(委員) 分かりました。もう1つは提案になりますが、現在知立市ホームページ上で運用しています時刻表検索システムについてです。これを使って路線を調べているのですが、コース名も含めて検索する必要がありますよね。コースが重複しているバス停はコースによっては、とても長い時間がかかるルートが表示されることもあります。コース名を含めないで最短のルートが表示されるようになると嬉しいです。

(事務局) 現在ホームページ上には、ミニバスの乗り換え案内を調べることができるシステムを導入しています。システムの都合上、ミニバスは市内を交差しながら走っているものですから、うまいこといかない部分もあるのがご指摘のとおり現状であります。簡単にできれば良いのですが、間違いが起こらないように、現在はコース名も含めて運用をさせていただきます。今後も検討させていただきます。

(議長) 他にいかがでしょうか。今回の調査の内容が盛りだくさんのため、難しい部分もあるかと思います。今回の調査でコースによって特徴が出てきている部分はありますか。

(事務局) 資料5-2、43ページには実態調査におけるミニバス全コースの平均値がまとめられています。それと比較しまして33ページからは各コースの調査結果がまとめられています。コースごとの特徴についてですが、まずグリーンコースについては、5路線のうち一番平均値に近い値が表れています。古い時代の開発地を経由するコースであることから、高齢者の方の割合が若干高くなっています。

同じくパープルコースについては、高齢者の割合が高いのと、買い物を目的とする人の割合が5コースのうち一番多くなっています。パープルコースは知立市の北東部である八橋地区を通るルートであり、買い物をする場所があまりなく、ミニバスに乗ってアピタ等に買い物をしていくのではないかと考えられます。

オレンジコースについては、平日部分になりますが、東刈谷駅を経由するルートであ

るため利用目的の中で通勤・通学と答えた方の割合が多くなっています。また、それに併せて平均年齢も下がってきているという状況であります。

続いてブルーコースについては、年齢構成において珍しい特徴が出ています。ブルーコースは上重原町を通るコースになっておりまして、上重原町は区画整理事業が約10年前に終わった地区ということもあり、他のコースと比べて75歳以上の方の割合より60歳～74歳の方の割合が多いコースとなっています。今後、年齢構成が上がっていくことが予想されます。

最後にイエローコースについてですが、こちらのコースは昭和団地を経由するコースになっています。こちらも古い時代の開発地域であることから、高齢者の方の割合が高くなっている状況であります。また、他線へ乗り継ぎをしないと答えた方の割合が非常に高くなっています。つまりは、イエローコースへの乗車のみで完結する方が多いということになります。これは、昭和団地を含めてアピタや知立駅に向かうということで移動手段としてその中で完結するのではないかと考えられます。以上がコースごとの特徴になります。

(議長) 事務局からの説明のとおり区画整理事業によって住んでいる方の世代については高齢化が遅くなったとか、通勤・通学利用が多いとか、路線ごとの特徴をおさえることは大事です。路線ごとにそれぞれどうしていくかという方針を定めていくべきだと思います。他にはよろしかったでしょうか。

(市長) 運転手さんの対応が良く、評価が高いのは非常にありがたいことです。これからもよろしくをお願いします。

(議長) 運転手の対応については資料5-2、69ページになりますね。委員の方、いかがでしょうか。

(委員) いただいている評価はありがたく受け止めまして、これからも継続して対応にあたりたいと思います。運転手の対応とは異なりますが、以前コースを乗り継いでバスを利用したときに、1つのコースが渋滞して、別のコースのバスが発車してしまい、乗れなかったことがありました。そういう部分の対応という意味では申し訳ないこともあると思います。

(議長) 69ページのとおり、乗り継ぎに関しては低い評価になっている部分もあります。道路状況によって左右されるため、難しいところもありますが、なるべく工夫があると良いと思います。また、現在ミニバスは2社に委託し運行していますが、1社だと無線を使ってもうまく対応できるかもしれません。2社の中で可能な範囲でうまく乗り継ぎができるように連絡を取ればよいと思います。他にいかがでしょうか。

(委員) 今日はミニバスを利用して来ました。2つの事業者によって運行されているということで、片方はICカードが使えて、片方は使えないことに関してお客さんから指摘を受

けることはありますか。

(事務局) 1・5コースは大興タクシー、2・3・4コースは名鉄バスに運行していただいております。名鉄バスのほうはICカードが使えて、大興タクシーのほうは使えない状況です。ICカードについてのお問い合わせは年に数件あります。資料3に種別調査の結果が載っておりますが、私どもの認識としては、案外ICカードの利用率は低いと思っています。実態として、現金は23%弱、ICカードにつきましては3%ということで、利用率としてはバスで利用していただく方は少ないと捉えております。

また、県内でもICカードを使えるコミュニティバスの事業者は、こちらの知っている限り名鉄バスだけです。ICカードの使える協会に入るには、加入金も億単位で必要だということを聞いています。私どもも利用しやすいバスであるために、ワンコイン100円で運賃を設定しております。当面金額は変えないで、ワンコインだけで乗れる形を継続していきたいと考えております。

(議長) 利用実態を見ると、確かにICカードの利用率はそれほど高くはありません。ただ、3コースは東刈谷駅を経由しての通勤・通学が考えられるので比較的高くなっていますね。全ての路線に事業者の関係で導入できないのであれば、通勤・通学の多い路線については、ICカードが利用できる事業者に運行していただくというようなやり方があるかと思えますし、現状ではカバーできていると思えます。

ただいまの議題は、協議事項ということになっています。ご審議いただくのは、地域公共交通の課題、資料5-1、8ページで整理した内容になります。内容としては、今まで課題として挙げていたところに、「⑤将来都市構造の構築に向けた対応」を加え、細かい部分を修正し、それに対する対応方針についてというところですか。これでよろしければ、挙手をお願いします。いかがでしょうか。

(委員) (全員挙手)

(議長) ありがとうございます。全会一致で賛成いただいたということで、事務局のほうで、こちらの方針に基づいて今後も進めていただきたいと思います。それでは、協議事項(2)「住民懇談会の開催について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料6に基づき説明】

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。住民を交えたワークショップはやっていく必要があると思えますし、市全域で1つの懇談会をやっていこうということですね。それでは、こういった形で住民懇談会を開催するというので、開催についてご審議をいただきたいと思います。賛成いただける方は挙手をお願いします。いかがでしょうか。

(委員) (全員挙手)

(議 長) ありがとうございます。全会一致で賛成をいただきましたので、事務局で進めていただきたいと思います。それでは、本日最後の協議事項になります(3)「地域公共交通調査等事業(計画策定事業)の事業評価について」ということで事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料7に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。

(委 員) 調査事業の事業評価ということで、中部様式の形に馴染みにくい部分もあるかと思いますが、以前に市からご相談をいただきまして、支局の内部でも意見が出ました。

「1. 協議会が目指す地域公共交通の姿」の部分を「2. 計画の達成状況の評価に関する事項」の部分に目指すべき都市構造というのが立地適正化計画やマスタープランの話が出ていますので、「1. 協議会が目指す地域公共交通の姿」に立地適正化計画等を記載していただくようにお願いします。また、上位計画の指標等があれば「2. 計画の達成状況の評価に関する事項」に記載してください。

(議 長) 支局からも意見が出てきていますので、それに基づいて修正してください。大きなところとして、2に挙がっている立地適正化計画を1に持ってきたほうが良いということですね。それでは、支局からご指導をいただきながら修正を加えていくということを前提として、こういった形で提出をしていくことについてご審議いただきたいと思います。賛成いただける方は挙手をお願いします。いかがでしょうか。

(委 員) (全員挙手)

(議 長) ありがとうございます。全会一致で賛成をいただきましたので、事務局で進めていただきたいと思います。それでは、全体を通してご意見・ご質問ありましたら、いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委 員) 障がい者の無料パスを作ってもらうことはできますか。現在、障がい者がミニバスに乗る際には各種手帳を提示していますが、人によってはポケットに手帳を入れたまま洗濯をしてしまったこともあるそうです。

(事務局) ミニバスガイド裏面の乗車料金の欄に②として身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を所持している方と付き添いの方1名は無料と記載させていただいております。これは原本を見せないと無料にならないという制度でやらさせていただいております。例えば、安城市だと市が証明したものを見せれば証明になるというやり方をしています。これに関しては、当市の福祉担当と協議が必要になってくる話になりますので、私どもだけでは決めることはできず、協議をさせてもらいながらやり方を決めていくべきと考えています。ですので、この場で発行可能



か不可能かを申し上げることができません。申し訳ありません。

(市長) 75歳以上のミニバスの無料化も含めて、どのようなやり方が良いか検討してまいりました。75歳以上のミニバス無料化については、高齢者医療保険証を指定のパスケースに入れて提示するというやり方ですが、保険証を紛失したら困るという声を伺っております。今後も内部で検討させていただいて、できるだけ使いやすいやり方を目指していきたいと思っております。

(事務局) 大事な保険証を常時持っていないといけないことについて、不安があるという意見をいただいております。私どもとしては、そういったことに配慮していかないといけませんし、バスに乗るときに本人さんであることを確認とれないといけないので、協議を重ねたうえで会議にかけることができればと思います。

(議長) ありがとうございます。保険証については大事なことですよね。事務局のほうで他の部署と協議を重ねていただきたいと思っております。他にはよろしかったでしょうか。ここで市民代表のご発言いただいている方からも一言いただきたいと思っております。

(委員) 2点あります。1点目は夏休みに中学生の子を対象に無料乗車を実施されたということで、最近は図書館を小学生の子が多く利用するのを目にします。夏休みとはいえ、子どもを連れて図書館へ出かけるのが難しい方もいるかと思っておりますので、小学生の子が無料でミニバスに乗ることができれば良いと思っております。もう1点はアンケート結果の運行ニーズについて刈谷市のハイウェイオアシスへのニーズが非常に高いということでしたが、そこへの運行を検討していただきたいです。

(事務局) ミニバスは小学生の運賃を無料としています。中学生から料金が発生しますが、中学生が活動しやすい夏休みについては無料にしていこうという対策をさせていただいているのが実情ですので、小学生の方はもし1人で乗れる状態なら、無料で乗っていただけるということになります。

もう1つ、刈谷のハイウェイオアシスへのバスについてですが、豊田市の高岡地区を拠点にしていますふれあいバスがあります。ふれあいバスは知立駅から乗ることができ、ハイウェイオアシスに直接向かうわけではありませんが、近いところのバス停に向かうことはできますので、高岡ふれあいバスになりますが、ハイウェイオアシスへはご利用いただけると考えております。

(議長) ありがとうございます。説明を受けまして改めて気づきましたが、小学生は無料なんですね。実を言うと30円や50円を運賃としても良いかもしれません。というのも、おこづかいの中で、お金を払って乗るということ子どもたちに覚えて欲しいですし、10円でも20円でも良いと思っております。

(委員) 知立市の取組はよく頑張っているなという印象を受けます。私はオレンジユースの地域に住んでいます。東刈谷駅に行くときに、東刈谷駅からバスに乗っていく子を見かけ

たこともあって、利用が多いと感じました。私は民生委員を務めていますが、子育てにも積極的な方針だと思いますし、障がい者の方たちのところを回った際に、無料券に近い形で乗車できるのは嬉しいとの声を聞きます。

また、オレンジコースの地域には戸建が1年間に100件建ったと聞きました。数十年経つと、ここの人たちも高齢者になってきます。地域は動いていっていますので、状況は変わっていくかもしれませんが、こういった取組をしていただける知立市の市民で良かったと思いました。

(委員) 私の住んでいるところが駅から近いため、バスはほとんど使わないです。先日、高齢者の方もいたので、旅行先に向かう際にバスを利用しました。その日は雨が降っていて、遅延が発生していたので、あわてて走って駅まで行きました。普段バスを使っていなかったもので、雨の日の遅延に気づきませんでした。

(議長) そうですね。雨が降ると交通状況も変化して、危険な状況にもなったりしますので、気をつけていただきたいと思います。議題としては以上となりますので、進行を事務局へお返しします。

(司会) ありがとうございます。5. その他ということで事務局から1点ご報告があります。冒頭に中型バスの完成イメージ図を配布させていただきました。元々ミニバスのデザインは市民公募で決まっているものですから、市民公募のデザインを基本として、ちりゅっぴのデザインを入れさせていただいております。ちりゅっぴの認知も含めまして、ミニバスも可愛がっていただければなと思っていますので、案内ということで提示させていただきました。

また、名鉄バスから配布のありました路線図をいただきましたが、ご説明はよろしかったでしょうか。

(名鉄バス) 【名鉄バス路線図の説明】

(司会) ありがとうございます。また参考にさせていただきたいと思います。最後に本日の議題とは関係なくとも、聞いてみたいことはありますか。

繰り返しになってしまいますが、住民懇談会を2月10日(土)に開催していきたいと思っています。ぜひ委員の皆様にも出席していただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

それでは、本日の知立市総合公共交通会議はこれで終了とさせていただきます。本日はお忙しい中ありがとうございました。